

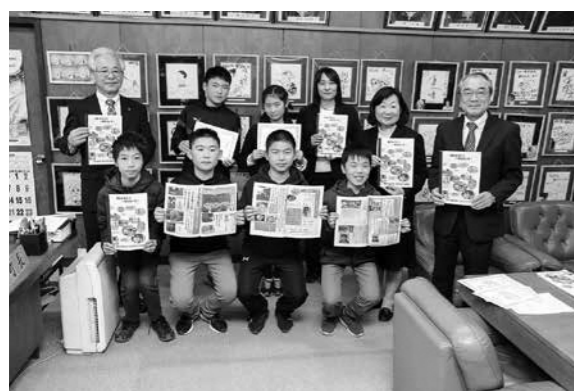


やさしく接したいと口をそろえて話す児童

湯前小で認知症サポーター養成講座 「優しく接したい」児童が病状学ぶ

湯前小学校(菅原浩子校長)の認知症サポーター養成講座が2月26日に同校で開かれ、5年生(新6年)36人が、認知症の知識を学んで、サポーターとなりました。

認知症を正しく理解してほしいと本町、社会福祉協議会、上球磨地域包括支援センター、ゆのまえ読み聞かせ「なずなの会」が協力。同支援センターの永瀆慶尚さん(38=浜川)が認知症の特徴を説明し、なずなの会が認知症の祖母と孫の物語を朗読しました。児童は班に分かれ、自分にできることについて話し合い「優しい声かけをする」「手伝う」「怒らない」などと意見を出していました。児童にはサポーターとなった証のオレンジリングが配られました。



町の魅力を詰め込んだパンフレットを寄贈

湯前町PR大使 パンフレット作成に感謝状

昨年11月に「湯前町PR大使」の委嘱を受けた湯前小学校6年生(新中学1年)6人が、3月18日に町役場を訪れ、作成したパンフレット25部を寄贈しました。

総合的な学習の時間に、29人の児童が「お店」「自然」「観光施設」「文化財」「イベント」の5つに分かれて取材し、編集。A4サイズの24頁にまとめ、フルカラーで発行しました。

代表者が鶴田正巳町長にパンフレットを手渡し、中村和弘教育長が一人一人に感謝状を手渡しました。永瀆尚大さん(浜川)は「町にどんな人気商品があるか分かった。これからは町をPRしていきたい」と話していました。パンフレットは町内の観光施設などに置かれる予定です。



一人一人模様の違うストラップに、みんな笑顔

かぼちゃの家から卒業記念品 福を願う、フクロウのストラップ

地域活動支援センター「かぼちゃの家」(東明美施設長)の6人が3月14日に湯前小学校を訪れ、児童29人に卒業記念として手作りストラップを寄贈し、門出を祝いました。

同施設では身体・知的障がい者らが潮神社にちなんだ「おっばいストラップ」などの小物を手がけ、町内のイベントや施設で販売。毎年卒業生の幸福を願い、布・綿性で3センチほどの「フクロウ」のストラップを作成。卒業生への寄贈は15年間続けられています。施設長の東さんが「皆さんの未来が幸せであることを願っています。これからは頑張ってください」とエールを送り、代表の児童4人が「ありがとうございます」とお礼を伝えました。

JAくまが学校給食にトマトを提供 特産のトマト、おいしいよ

JAくまのトマト部会(坂口秀一部会長)が、湯前小・中学生に地元産のトマトを食べてもらおうと、3月1日に湯前町学校給食共同調理場へ4キلو(20玉)を無償提供しました。

同部会では、会員が所属する本町、多良木町、あさぎり町、相良村から、毎年2町村ごとに、給食用としてトマトを提供し、本町への提供は2年ぶり。部会を代表して那須博幸さん(49=上村)が大玉トマト「ごほうび」などを贈呈しました。

提供されたトマトは、3月4日の給食でサラダとして児童生徒に振舞われました。那須さんは「子どもたちに、自分の住む地域に新鮮でおいしい農産物があることを知ってもらえたら」と話していました。



部会を代表してトマトを贈呈した那須さん

※写真は作業終了後に撮影した写真です

体育功労者表彰 全国大会出場の2選手を表彰

3月7日、本町の社会体育の発展に貢献したとして、森下将剛さん(18=野中田3)と福田龍之介さん(人吉高校3年=上村)に「湯前町体育協会功労者表彰」が贈られました。

表彰は、平成30年度にスポーツで活躍した選手を町体育協会が表彰するものです。二人は、昨年、人吉高校カヌー部として、熊本県高校総体に出場し、スプリント・カヤックフォアで1位となるなど活躍し、全国高等学校総合体育大会に出場。同協会の森下一富会長(66=馬場)から、それぞれ自宅で表彰を受けました。

福田さんは「こどもも全国大会に出場できるよう、昨年以上に頑張りたい」と話していました。



自宅の前で表彰を受けた森下将剛さん

自衛隊入隊予定者合同壮行会 陸自入隊の二人が決意表明

平成30年度人吉球磨地区自衛隊入隊予定者合同壮行会が3月9日にあさぎり町せきれい館で開かれ、4月から部隊に入隊する17人を家族や来賓ら120人が激励しました。

壮行会は自衛隊家族会人吉球磨地区連絡協議会(井上朋和会長)が主催し、管内10市町村が協賛。本町からは陸上自衛隊に入隊する山崎隼汰さん(18=上村)と池田昂史さん(24=上村)が出席しました。井上会長が激励し、鶴田正巳町長が二人に記念品を贈呈。山崎さんは「周りの人に感謝し、国民から信頼される自衛官になりたい」、池田さんは「日々努力して立派な自衛官になりたい」と力強く決意を表明し、会場から大きな拍手を受けました。



感謝と決意を述べた山崎さん